

茨城県 高校入試情報

令和7年度茨城県入試の全体傾向

- 大問構成、問題数について
- 大問数：昨年と同様地1・歴1・公1・地歴公1の計4問
- 小問数：昨年と同様28問
- 文章記述問題は2問(昨年は1問)
- 出題傾向について
- 資料を使った出題が多く、地理分野ではグラフの数値や地形図を読み取る問題も出題されている。
- 歴史分野では並び替え問題、文化に関する問題が3問出題されている。
- 記述問題はすべて穴埋め形式で字数制限あり。

★茨城県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

■ 資料読み取り問題の出題

・地理では雨温図、地形図、統計やグラフなど複数の資料から読み取って考えられることを問う問題が出題されている。複数の資料の読み取りに慣れておくことが必要。



新研究で対策！

- 解説ページの「入試によく出る資料読取」コーナーで、よく出る資料の読み取り問題を出題しています。
- 「フォロー特集 わかる！さまざまなグラフの読み取り方」(p. 24～25)で、いろいろなグラフの読み取り方をおさえられます。
- 「資料活用問題に強くなろう！」(p. 178～183)は、例題で読み取りの基礎をおさえたと、最新入試問題で練習ができるように工夫しています。

■ 歴史の時代関係の問題の出題

・例年、歴史でおもなできごとの並べかえ問題が出題されているため、テーマごとに歴史の流れをおさえる対策が有効。



新研究で対策！

- 「特集 流れでみる歴史」(p. 114～119)で、同時代のできごとを整理。「ふりかえりチェック 歴史年表編」(p. 120～121)で、すべての時代の流れをつかむことができます。
- 「並べかえ問題に強くなろう！」(p. 190～191)では最新の入試問題で並べかえ問題がしっかり練習できます。

★新研究で出題した茨城県の入試問題(令和7年度)

◆p.55 ◆p.81 大問1 ◆p.191 大問5

茨城県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★茨城県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿		●	●
		日本の姿		●	●
		世界各地の人々の生活と環境		●	●
		アジア州		●	●
		ヨーロッパ州、アフリカ州	●		●
		北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州	●	●	●
		地域調査の手法	●		●
		日本の自然、人口	●	●	●
		日本の資源・産業、世界との結びつき	●		●
		九州地方、中国・四国地方		●	●
		近畿地方、中部地方	●		●
		関東地方、東北地方、北海道地方	●	●	●
		文明のおこりと日本		●	
出題形式別の傾向	歴史的分野	古代国家の歩み	●		●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一			●
		近世社会の発展	●		●
		近代ヨーロッパと日本の開国	●	●	●
		近代日本の歩み		●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	●
		現代の日本と世界	●	●	●
	公民的分野	現代社会と私たちの生活	●		
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●
		現代の民主政治、国会			●
		内閣・裁判所、三権分立		●	●
		地方自治	●	●	
		消費生活と流通・生産、市場経済と金融	●	●	●
		財政、国民生活と福祉	●		●
		地球社会と私たち	●		●
		分野統合	●	●	●
	出題形式別の傾向	大問数	4	4	4
		小問数	36	31	28
		記号解答	34	25	25
		用語記述	2	5	2
		文章記述		1	1
		作業・作図			2